

男女共同参画関連科目の開講状況(平成29年度)

◆ 男女共同参画を理解するために  
(女性学・ジェンダー論、歴史・文学などの視点からの科目)

No	開設部局等	開講学期	曜日 時限	対象 年次	科目名等	講義コード	テーマ	担当教員名 (職名)	科目区分	
1	教養教育	2ターム	月 1-4	1年次	平和と人権-グローバル化とジェンダー視点	11006001	この講義では、「人権」を通して平和について考えます。平和を脅かすものは、戦争や争いにとどまらず、様々な形態の暴力や差別、貧困や飢餓、さらには経済的搾取等が考えられます。国際化や情報化の流れの中で、経済・文化などのあらゆる分野におけるグローバル化が進み、特に社会的弱者の人権が侵害されています。講義では、現実社会において平和が脅かされている現状を知り、その原因を一緒に考えていきたいと思ひます。問題の所在をわかりやすくするために、DVD等の視聴覚教材を積極的に活用します。受講生一人ひとりが、どのように平和を創っていくかを考えるきっかけとなるような授業展開を目指します。	森 玲子 (教授)	平和科目	
2	教養教育	2ターム	月 1-4	1年次	平和を考える	11002001	「平和」の諸相に関する講義・講演、さらに学生主体のPBLを通じて、テーマを身近な問題として理解できることを目指す。	中山 富廣 (教授)	平和科目	
3	教養教育	2ターム	金 5-8	1年次	生活をとりまく家族・地域・産業	51008001	日本社会の家族・地域・産業といった生活世界の各領域の仕組み、特徴を明らかにするとともに、産業化に伴う社会構造の変動が我々の地域生活、家庭生活といった生活領域にどのような変動をもたらしたかを検討していきたい。	西村 雄郎 (准教授)	パッケージ別科目	
4	教養教育	2ターム	金 1-4	1年次	文化人類学の世界	54004001	主として担当者による文化人類学的フィールドワーク(現地調査)に依拠し、東南アジアの社会・文化を紹介・検討することを通して、文化人類学的視点・方法を論じる。	高谷 紀夫 (教授)	パッケージ別科目	
5	教養教育	3ターム	金 5-8	1年次	文化人類学の世界	54004002			パッケージ別科目	
6	教養教育	セメスター (前期)	水 9,10	全学	ジェンダーと社会	65210001	現在の社会におけるジェンダーを巡る諸問題について理解し、なぜ男女共同参画が必要なのか、どうすれば男女共同参画社会が実現できるのかについて考える。男女共同参画の必要性を理解すると共に、男女共同参画推進のための各種制度に関する基本的な知識を習得し、現状の問題点について考えることができるようになることを目指す。なお、授業は複数の講師によるオムニバス形式で行う。	森永 康子 (教授)	領域科目	
7	教養教育	1ターム	金 5-8	1年次	文化人類学A	65030001	人間と文化の関係についての人類学的見方の習得(1)	高谷 紀夫 (教授)	領域科目	
8	教養教育	1ターム	火 1-4	1年次	文化人類学A	65030002		栗田 梨津子 (助教)	領域科目	
9	教養教育	2ターム	水 1-4	1年次	文化人類学A	65030003		佐野 真理子 (教授)	領域科目	
10	教養教育	2ターム	火 1-4	1年次	文化人類学A	65030004		栗田 梨津子 (助教)	領域科目	
11	教養教育	3ターム	水 1-4	1年次	文化人類学B	65031001		佐野 真理子 (教授)	領域科目	
12	教養教育	3ターム	木 1-4	1年次	文化人類学B	65031002		栗田 梨津子 (助教)	領域科目	
13	教養教育	4ターム	木 1-4	1年次	文化人類学B	65031003			領域科目	
14	教養教育	4ターム	金 5-8	1年次	文化人類学B	65031004		高谷 紀夫 (教授)	領域科目	
15	教養教育	3ターム	金 5-8	1年次	現代社会学B	62161002		「社会」はつかみ所のない存在です。時に社会は、私たちの前に対峙し、様々な矛盾や困難を与えますが、そればかりではなく、この世に生きる意味や希望を指し示し、教え切れない便利な仕組みを提供してくれます。「社会」とはそもそも何なのでしょう。通常、私たちは、自らの経験や常識的な見解(たとえば、高校の社会科学の知識やテレビ、インターネットの情報など)に基づいて、この「社会」を理解しようとしています。社会学は、個々人がイメージする社会像や人々の身近に張り付く社会を相対化し、社会科学的分析方法を提供する学問です。講義では、社会学特有の諸概念(関係・集団・行為・規範・逸脱・社会化等)と、社会学を創始した学者の研究(富の蓄積や自殺の研究)、最も基礎的なテーマ(家族、地域)及び応用的ないくつかのテーマ(環境、医療、福祉)を通して、身近にありながら曖昧な存在でもある「社会」に対する専門的思考方法について解説します。	福田 恵 (准教授)	領域科目
16	総合科学部	セメスター (前期)	金 3,4	2年次	ジェンダー学基礎	ASB02001		身近な問題をとりあげ、それらをジェンダーの視点から分析することを学ぶ。	大池 真知子 (教授)	専門教育科目
17	総合科学研究科	セメスター (前期)	火 3,4	M1年次	異文化理解	AZ4C0401		異なる文化が交わり合いながら、それぞれの内部構造や価値観などにおいても様々な変化をもたらす。本授業ではその中で特に現代社会の根底をなす人間の尊厳という原理の成立史を視野に入れながら、文学作品を主な題材として取り上げ、ジェンダー、階級、民族、人種、国籍等の観点から批判的に分析することを学ぶ。	SCHLARB, HANS MICHAEL (准教授)	専門教育科目
18	総合科学研究科	3ターム	水 1-4	M1年次	民族学研究	AZ4B0101		文化人類学・民族学に関する基本的知識の習得とその応用をめざす。	高谷 紀夫 (教授)	専門教育科目
19	文学部	セメスター (前期)	火 3,4	2年次	現代文学概説	BK208201		昭和以降の主要な文学潮流を検討するなかで、雑誌『女人芸術』に集まった女性作家や戦後の女性作家の動きなどを取り上げて、文学にジェンダーがいかに関わっているかを学ぶ。	有元 伸子 (教授)	専門教育科目
20	文学部	セメスター (後期)	火 5,6	3年次	現代文学研究法	BK208302		三島由紀夫の代表作『金閣寺』を種々の方法を援用しながら読解する。文学理論において、ジェンダー/セクシュアリティは重要な観点である。また、映画・演劇化による変容も検討し、時代と文学、ジェンダーの関連を学ぶ。	有元 伸子 (教授)	専門教育科目

男女共同参画関連科目の開講状況(平成29年度)

◆ 男女共同参画を理解するために  
(女性学・ジェンダー論, 歴史・文学などの視点からの科目)

No	開設部局等	開講学期	曜日 時限	対象 年次	科目名等	講義コード	テーマ	担当教員名 (職名)	科目区分
21	教育学部	4ターム	水 5-8	1年次	生活経営学	CC420302	生活経営の内容に関して人間生活教育(家庭科教育)の観点をふまえて解説する。 生活経営学では、個人の生活や家庭生活を対象としてとらえる。個人の生活や家庭生活を、生活とはどのようなものであるかについて、生活構造、家族、経済生活、文化的・社会的・自然的環境と生活との相互作用という視点から理解することを目標とする。	横田 明子 (教授)	専門教育科目
22	教育学部	セメスター (前期)	集中	3年次	生活設計論	CC421905	人間生活教育(家庭科教育)における生活設計の教材化について解説する。生活設計論においては、生活設計を、大きく短期的・中期的生活設計と長期的生活設計に分けて考える。前者では日常生活をどう計画していくか、後者では人間の生涯にわたる生活をどう計画していくかについて学習する。	今川 真治 (教授)	専門教育科目
23	教育学部	セメスター (後期)	木 7,8	1年次	Japanese Society and Gender Issues	C7002032	By taking this course, students will ・ Gain understanding of gender equality issues in the Japanese society: gender concept related to household, role divisions in a workplace, changes of policies in work places, and gender related social issues. ・ Learn to critically examine the way Japanese women/men have been represented socially and historically, and its reality ・ Gain basic understanding of feminist theories in the context of Japanese society ・ Gain the skill to construct arguments in a debate	恒松 直美 (准教授)	専門教育科目 短期交換留学プログラム(HUSA)留学生用 特別科目(英語)
24	教育学研究科	2ターム	火 5-8	M1年次	教育とジェンダーの 国際比較論特講	NMQ10080	確立された近代学問及び研究において無視又は軽視される傾向にあった「女性」の存在を再検討し、研究される「対象」から「主体」へと転換を図ることを目指したジェンダー理論の視点について学ぶ。主に、異なる文化圏のジェンダーの問題について考察し、教育との関わりを分析する。多様な文化・宗教・社会的要素との関わりの中で理論構築を模索するジェンダー理論の発展について学び、知識構築の枠組みを批判的に分析する力を養う。	恒松 直美 (准教授)	専門教育科目
25	国際協力 研究科	セメスター (後期)	水 1,2	M1年次	教育開発とジェンダー	X0010872	教育開発におけるジェンダー問題について、多角的に検討できるようになること。	清水 欽也 (教授), 馬場 卓也(教授), 吉田 和浩 (教授), 佐藤 暢治(教授), 石田 洋子 (教授), 深見 兼孝(教授), 平川 幸子 (准教授), 三 輪 千明(准 教授), 牧 貴 愛(准教授), 日下部 達哉 (准教授), 中 矢 礼美(准 教授), 遊谷 和朗(特任准 教授)	専門教育科目